

「鵜川」「泉八日」土地改良区を統合 「三種町土地改良区」合併予備契約調印式



▲三種町内で最大となる「三種町土地改良区」

3月3日、三種町役場で鵜川・泉八日土地改良区による「三種町土地改良区」の合併予備契約調印式が行われました。

この調印式までの経緯は、「鵜川土地改良区（成田和保理事長）」と「泉八日土地改良区（唐土義弘理事長）」が業務効率化と経営組織基盤の強化などを狙い、平成20年に町・県・県土地改良事業団連合会と統合整備推進研究会を設立。平成22年には、研究会を合併推進協議会に格上げして、合計15回の話し合いで予備契約書・統合整備計画に盛り込む全項目が合意に達しました。

今後は、両土地改良区から選出される委員で設立委員会を立ち上げ、定款や維持管理計画書の作成などを行い、11月1日を合併目標としています。

不登校・ひきこもりを考えるイベントを開催 長信田の森心療クリニック

3月20日、ふるさと文化館において、長信田の森心療クリニックの主催による「不登校・ひきこもりを考えるイベント」が開催されました。

このイベントは「わたしを生きる」をテーマとし、第1部では、長信田太鼓や院長による講演、シンポジウムが行われ、第2部では「一人の教師と十四人のエリートたち」の演劇公演が行われました。

当日は約500人の観客が来場。長信田の森メンバーの感情のこもった演劇に、観客は心を打たれていました。

※3月22日、長信田の森メンバーが演劇公演入場料の収益金や会場での募金など総額20万円を、東北関東大震災義援金として役場に届けてくださいました。皆様の善意に感謝いたします。



▲感情のこもった演技で観客を魅了

三浦篤さんが栄誉賞を受賞 平成22年度秋田県スポーツ賞表彰式



▲栄誉賞を受賞した三浦篤さん（左）

2月25日、三浦篤さん（三種町体育協会会長）が（財）秋田県体育協会主催の秋田県スポーツ賞表彰式において、栄誉賞を受賞しました。

三浦篤さんは、市町村合併以前の山本町体育協会役員を歴任後、三種町体育協会会長として合併後の体制づくり、環境整備に手腕を發揮しました。

また、指導者の組織化、養成、配置などの新機軸により、その卓越した指導力でスポーツを通じた組織力の強化、将来像を見据えた独自の取組などでスポーツによる町づくりの中核的組織のリーダーとしてスポーツ振興に大きく貢献しております。

なお、三浦さんは（財）全日本軟式野球連盟永年勤続役員表彰（20年以上）も併せて受賞しています。